

しまね教育魅力化ビジョン  
 ふるさと島根を学びの原点に  
 未来にはばたく心豊かな人づくり  
 学力を育む  
 社会力を育む  
 人間力を育む  
 しまねの学力育成推進プラン

【教育目標】

学びを楽しみ、つながり合い、たくましく伸びる子どもの育成  
 ～地域素材の魅力を活用し学校づくり～

大田市教育ビジョン  
 わが里を誇り、大田と世界の未来を開く  
 (1) 生き抜く力を育てる  
 (2) 「あるもの」を活かす  
 (3) 地域を支え、創る

めざす児童の姿

学びに“楽しさ”を感じる子ども

- ・調べる、まとめる、伝えることを楽しむ（ゴールと評価）
- ・話し合うことを楽しむ（対話的な学びと協働的な学び）
- ・気づくことを楽しむ（個別化、個性化の尊重）

友だちとつながり合う子ども

- ・進んであいさつができる（基本的コミュニケーション力）
- ・うまく折り合いをつけて、協力し合える（課題解決力）
- ・よく考えて判断し、よりよい行動ができる（メタ認知）

たくましい子ども

- ・決めたことを最後までやり切る（自己肯定感・自尊感情）
- ・進んで体を動かす（体の調整力と体力の向上）
- ・危険を予測し、安全な生活をおくる（想像・判断・実行）

めざす職員の姿

- 子どもの人格を尊重し仲間を大事にする職員
- 教育に携わる者としての自覚と使命感を持ち、研究と修養に自ら励む職員
- 社会を構成する一員として責任ある行動がとれる職員

めざす学校の姿

- 子どもたちの学び合う声が響き、明日も行きたくなる楽しい学校
- 職員が安心して力を発揮できる、働きやすい職場としての学校
- 保護者や地域から信頼され、いつでも協力を得られる学校

確かな学力

- ①基礎基本の定着と安定
- ②「系統性」踏まえた「能力ベース」の授業づくり（授業改善）
- ③学校図書館の活用（学校司書との連携）
- ④ICTの有効活用（タブレット、電子黒板）
- ⑤家庭学習の見直し（主体的な学びへ）
- ⑥伝える力の向上

大田市学力育成プロジェクト

豊かな人間性・社会性

- ①互いに支え合う自立した集団づくり
- ②いじめや差別を許さない、隠れたカリキュラムに支えられた学級経営
- ③自他を尊重する人権意識の向上
- ④多文化共生の視点に立った人権教育
- ⑤地域の素材を活用した体験的活動の重視
- ⑥道徳的実践力とコミュニケーション力の育成

4つの柱

健康な心と体

- ①基本的な生活習慣の定着（自主的予防）
- ②メディア・SNSに関する自己コントロール
- ③体力や体の調整力を向上させる取組の実施
- ④安全意識や防災意識の向上
- ⑤感動体験・成功体験の尊重

教職員の連携と協力

- ①一人一人の得手・不得手の相互補完
- ②安心して休暇が取得できる協力体制
- ③報告・連絡・相談と情報共有
- ④よりよい働き方の提案と実践
- ⑤ワークライフバランスの向上

学校教育

活用

地域の豊かな教育資源や素材  
ひと・こと・もの

信頼

協力

家庭・保護者

信頼

つながり

地域が願う、未来を生きる子どもの姿

- 地域の文化・伝統を大事にし、温泉津（地元）が好きな子ども
- よく学ぶ子ども
- 自分で考えて行動する、強さをもった子ども
- コミュニケーション力があり、打ち解けやすい子ども